

中国語母語話者による同時進行のとらえ方と 表現型について

安 藤 好 恵

0. 進行表現とはどのような認識の下になされるのだろうか。例えば一人の人間によって2種類の動作行為が進行中の時、我々日本人が用いる言語形式の一つに「ながら」がある。日本語の「ながら」は従属接続助詞であり、南1974によれば「あるおもな（と認められる）動作に平行して継続する（副次的と認められる）動作を表す」。つまり最初から主と従の別がはっきりしている訳だが、それでは「ながら」に対応する中国語の表現“一边～一边～”はどうであろうか。《現代漢語八百詞》p. 528によれば、“一边～一边～”は動詞の前に用いて、2つ以上の動作が同時に進行することを表す。また、《实用現代漢語語法》p. 547では“一边～一边～”を用いた構文は、等位複文の中の並列複文に分類されている。同書によれば、並列複文とは「各分句がそれぞれ別々にいくつかの事柄、いくつかの状況、あるいは同一事物のいくつかの側面を叙述または描写するもの」である。とすれば、“一边～一边～”文中の2種類の動作は、同時に進行しているが、一つ一つが独立した動作である、と考えられる。

さて、今回はあらかじめある言語形式を誘発するような場面を設定し、複数の中国語母語話者を被験者として資料を採取するという調査方法を試みた¹⁾。この方法により得られた調査結果に基づき、以下論を展開していきたい。

1. 資料採集の方法は以下の通りである。

- ①調査資料はセリフのない漫画（新聞漫画をこの調査のため一部手直したものを）を使用。事前に日本語母語話者に対して調査を行い、「ながら」を用いて表されるような同時進行中の動作がある、と考えられる場面を選択した。調査資料は、資料①～③として文中に提示する。さらに補足資料とし

て、資料④、⑤を加える。

②被験者は中国国内、日本国内に住む、中国語を母語とする話者25名。

③被験者に漫画を見せ、画中の人物の動作およびストーリー展開について記述してもらう。

なお、被験者のデータは〈表1〉の通りである。

〈表1〉

被験者	性別	年 齢	出身地	被験者	性別	年 齢	出身地
A	女	40代	北京	N	男	21	天津
B	女	36	北京	O	女	39	天津
C	女	34	沈陽	P	女	28	?
D	男	38	ハルビン	Q	女	28	北京
E	女	24	河南	R	男	30	江蘇
F	女	37	河北	S	女	29	北京
G	女	28	北京	T	女	23	北京
H	男	53	吉林	U	女	32	安徽
I	女	37	上海	V	女	30	北京
J	女	49	天津	W	男	32	北京
K	男	44	上海	X	男	35	天津
L	女	30代	台湾	Y	男	40代	上海
M	女	40代	北京				

2. 調査結果に現れた個々の事例について考察するのが望ましいことは言うまでもないが、紙幅の関係上ここでは主に使用率の比較的高かった“一边～一边～（边～边～）”文型について考えたい。（本稿では“边～边～”は“一边～一边～”の省略型として、広い意味で一つの文型として考える。）

先の《实用现代汉语语法》の記述に従って考えれば，“一边～一边～”文中に現れる動作行為は、それぞれが独立した並行的動作であり、従って比較的自由に文中で前後の位置を交換することができる。例えば、

1) 孩子们一边唱一边跳。

1)' 孩子们一边跳一边唱。

1)と1)'はいずれも成立する。

調査結果に現れた“一边～一边～”文も、単文で提示された場合には文中の

中国語母語話者による同時進行のとらえ方と表現型について

前後の動詞を入れ換えることは可能と考えられる。それならば“一边～一边～”文中に現れる2種類の動詞には、個人差による前後の位置の違いがあっべきであると考えられるが、しかし実際には、ほとんどそのような差はみられなかった。してみると、“一边～一边～”文中の動詞の位置には法則性があり、叙述の際、それにのっとって動詞の位置が決定されると考えられよう。

資料①～③中の動作に注目すると、

資料①



「コーヒーを飲む」、
「おしゃべりをする」

資料②



「オルガンを弾く」、
「歌を歌う」

資料③



「風呂に入る」、
「歌を歌う」

などが挙げられるだろう。

資料①～③を叙述するために用いられた“一边～一边～”の使用率は、

資料①：12人・48%，

資料②：15人・60%，

資料③：10人・40%

となっている。それではこれら文中の動詞の位置関係についてみる。

2.1

資料①



まず資料①について。A、B、C、D、E、F、I、J、K、L、M、Tらが“一边～一边～”文型を用いた。

A：一边喝咖啡一边谈话

B：一间屋子里两位女士坐在桌子边一边喝咖啡一边聊天儿

C：两个人一边喝咖啡一边快乐的聊天儿

D：两个人边喝咖啡边聊天儿

E：一边喝咖啡，一边聊

F：这两个人边喝边说

I：边喝茶边议论

J：母女俩边喝边谈

K：边喝茶边说话

L：她们边喝茶边聊天儿

M：这两个人一边喝着咖啡边谈话

T：两个人刚才还在谈笑风声地边品茶边谈天，突然一句；话不投机大吵起来

これらの文例ではいずれも“喝咖啡”（コーヒーを飲む）が“一边～一边～”文型の前部に，“谈话”（おしゃべりする）が後部に位置している。

また、O、P、Uらの文例では、

O：两个女人在咖啡馆里谈天

P：久未见面的朋友在咖啡店聚会

U：她俩在咖啡店里这热闹劲

“喝咖啡”（コーヒーを飲む）という行為に相当する記述はなく、代わりに“在咖啡馆”などの場所を表す語が入り、後に続く動作（“谈天”など）の一種の状況説明となっている。Oらの文例では“谈天”などが文中の唯一の動詞であるが、逆に“喝咖啡”などが文中の唯一の動詞となっている例はない。従って資料①からは、「おしゃべりする」が主要な動作とみなされていると考えられる。Aらの文例では、全員が“喝咖啡”（コーヒーを飲む）という行為を“一边～一边～”文型の前部に用いており、Oらの叙述の仕方と併せて考えると、“一边～一边～”の前の部分が後の部分の付帯状況的役割を果たしている、と考えられる。また、「飲む」と「話す」は双方とも口という一つの器官を使う動作であり、“一边～一边～”でつながれる動作行為は時間的許容量が広いこ

とがわかる²⁾。

2.2

資料②



次に資料②であるが、3枚の資料の中で“一边～一边～”の使用率が最も高く、A、B、C、D、E、F、G、H、I、L、N、O、R、Vらが“一边～一边～”文型を用いている。

- A：(练习唱歌) 一边弹琴一边唱歌
- B：一位老人在屋里一边弹琴一边唱歌
- C：老人家一边弹钢琴一边唱歌
- D：一位老先生一边弹钢琴一边唱歌
- E：一边弹琴一边唱
- F：一边弹琴一边唱歌
- G：一位老人一边弹琴一边唱着歌
- H：这是一个很高兴的人，他一边弹钢琴一边唱歌
- I：边敲打着琴边在呱呱地乱叫
- L：老先生边弹钢琴边唱歌
- N：一位老太太一边弹琴一边唱着歌
- O：这个人在毫无顾忌地边弹琴边大声唱歌
- R：一老嫗边弹着钢琴边和着调子唱着歌曲，自得其乐
- V：渡边老汉一边弹着风琴一边高唱着《拉网小调》

“弹琴”（オルガンを弾く）という動作が“一边～一边～”文型の前部に，“唱歌”（歌を歌う）という動作が“一边～一边～”文型の後部に用いられているが、これ以外の“一边～一边～”文型を使わないJ，U，Wらにおいてもこの順序は変わらない。

- J：老婆婆在家弹钢琴唱歌
- U：铃木在家自弹自唱，很是高兴的样子
- W：自弹自唱

一方で，“弹琴”という動作のみを取り上げた例もある。

- M：他在弹钢琴

Q：有一个老人坐在窗边自得自乐地弹着钢琴

T：太太在公寓里弹着钢琴

Y：乱弹琴

などである。逆に“唱歌”だけを取りあげた例はない。Mらは“弹琴”を主要な動作としてとらえており、これに付加要素として“唱歌”を加えると、

P：老爷爷边唱边弹。好不自在啊！

のような，“唱歌”が前，“弹琴”が後ろという順序になる。

“弹琴”がMらに、そのみとりあげられたのに対して，“唱歌”は“弹琴”と一組の動作として、Aらの“一边～一边～”文中に現れる。この「ピアノを弾く」と「歌を歌う」の関係について、例えばAは“练习唱歌”と付け加え、またRは“边弹着钢琴边和着调子唱着歌曲”と書いていることから、ピアノは歌を歌うための伴奏と考えていることがわかる。被験者は、画中の動作主にとって主要な動作は“唱歌”をとらえ、“一边～一边～”文中での前後の位置がこのように固定したのだろう。

2.3

資料③



資料③については、文中には“洗澡”（風呂に入る）と“唱歌”（歌を歌う）の2種類の動作が挙げられたのだが、“一边～一边～”を用いた文例（“一边洗澡一边唱歌”など）と、“～着～”の

形の文例（“哼着歌在洗澡”など）とで、前後の動作の順序に違いが見られた。このことは、「湯船につかっている」画中の男を、静的な状態としてとらえるか、「入浴」という一連の行為の一環としてとらえるかという違いとも関わってくると考えられる。以下、この2つについて見ていく。

(1) “～着～” 文型について

P：松本哼着小曲儿在洗澡

T：福川先生哼着歌在洗澡

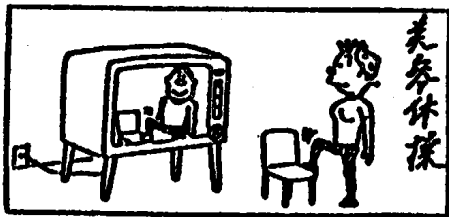
U：…哼着歌泡在洗盆里

P、T、Uらはいずれも“哼歌”（鼻歌を歌う）が文の前部に，“洗澡（Uは“泡在洗盆里”）”が後部に位置している。この2つの動作を比べた場合、そも

そも「風呂に入る」と「歌を歌う」では、「風呂に入る」という行為に「歌を歌う」が含まれるのが一般的であり、その逆は通常あり得ない。従ってこの“～着～”文型は、2つの動作を別々でなくひとかたまりのもの、一方をある大きな動作の中の一部としてとらえ、行為そのもののもつ本来の比重を比べた場合の主たる動作、従属的動作を従→主の順で表していると考えられる。

ここで更に“～着～”が用いられた例として、資料④を挙げる。

資料④



事前の日本語母語話者に対する調査では、資料④に対して「テレビを見ながら体操している」という文例が挙げたのだが、中国語母語話者からは“一边～一边～”を用いた文例は、

C：一边看电视一边做着体操

C一例のみであった。逆に“～着～”文型は25人中12人が用いている。（“一边～一边～”が使えないわけではないが、漫画から即連想される文型ではないということである。“一边～一边～”はさきの《实用现代汉语语法》の説明にもあったように、並列複文であり、それぞれを独立した別個の動作ととらえる傾向があるので、“～着～”文型の方がよりふさわしいと考えられる。）“～着～”文型を用いたのはA、F、G、H、K、L、M、N、P、Q、T、Vらである。

A：跟着电视做体操

F：一个人正在跟着电视学美容体操

G：一位太太在家里跟着电视学做美容体操

H：一个人跟着电视做美容体操

K：她看着电视练习体操

L：小孩子看着电视学习做美容体操

M：这位女士正跟着电视学做美容体操

N：她总是学着电视里讲员的样子做操

P：尤美跟着电视练健美

Q：有一位妇女跟着电视学做美容体操

T：园太太正家中随着电视练美容体操

V：节食失败后，花子决定跟着电视做美容体操了

この場合は、画中の動作主はテレビの動作を真似て、動くのである。動作主の本来の目的は「美容体操をする」ことであって、「テレビを見る」ことではない。つまり何が主で何が従かは明らかである。

先の資料③に戻ると、「入浴」という行為の中での「歌を歌う」という動作、という見方が文中の前後の位置に反映していると考えられる。

(2) “一边～一边～” 文型について

“一边～一边～” を用いたのはA、C、D、E、F、G、J、K、L、MらであるがそのうちKのみ“哼着小调”（鼻歌を歌う）が文の前部に，“洗澡”（風呂に入る）が後部に位置している。

K：边哼着小调边洗澡，真是舒服极了

それ以外の9人は“洗澡”が前，“唱歌”が後ろという順序である。

A：一边洗澡一边唱歌

C：老爷爷一边洗澡一边哼小调

D：他一边洗澡一边唱歌

E：一边洗澡一边哼歌

F：一边洗澡一边唱歌

G：有样子，一边洗澡一边哼着小曲儿是件很舒服的事

J：边洗澡边唱歌，他的心情非常愉快

L：边泡澡边唱歌

M：他正洗澡呢，一边洗还一边哼着小曲儿，好像很快意

またB、H、O、Q、V、Xらの文例では、「風呂に入る」の部分は時（～的时候）や場所（在～里）を表す語とともに“唱”の前に置かれている。

B：这位老人很爱唱歌，在澡盆里唱

H：泡在澡盆里的时候他高兴地唱

O：泡在热腾腾的洗澡水里，美滋滋地哼着小曲

Q：画中的人洗（泡）澡的时候在唱歌

V：太郎舒舒服服地泡在浴盆里，嘴里哼着小曲儿，心里喜滋滋的

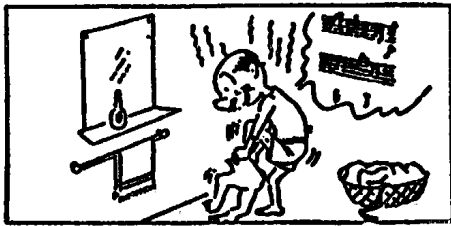
X：泡在热水里，吟唱成章

中国語母語話者による同時進行のとらえ方と表現型について

H、L、O、U、V、Xらは「風呂に入る」の動詞に“泡”を用いており、進行中の動作というより、変化の少ない状態としてとらえていることがわかる。一方“唱歌”は明らかな進行中の動作であるから、“一边～一边～”を用いたAらは、動きの小さいものから大きなものへ、静的→動的という順序で配列した、ということがまず考えられる。

しかし、資料⑤の場合はどうだろうか。

資料⑤



他の資料と違い、25名の被験者全員から調査結果が得られなかったので、数が少ないのだが、以下のような傾向が見られた。

- A：一边穿裤子，一边唱歌
- C：一边哼着小调一边穿着裤子
- D：他一边穿裤子一边唱歌
- E：一边穿衣服，一边哼歌
- F：一边穿衣服，一边唱歌
- L：边穿裤子边唱歌
- P：哼着小曲儿穿衣服

“一边～一边～”を用いた6人中5名が“穿衣服”（服を着る）を前に，“唱歌／哼歌”（歌を歌う）を後にしている。資料③と違い、ここでの“穿衣服”は明らかな進行中の動作である。

資料③に戻ると、文例に、「気持ちがいい」など、動作主の心理状態を表す言葉が入っているものがある。G “很舒服”，H “高兴地”，J “非常愉快”，M “很快意”，N “舒服地”，O “美滋滋的”，V “心里喜滋滋的” などである。H “泡在澡盆里的时候他高兴地唱”，N “一位老大爷在洗澡，舒服地哼起了小曲儿” においては，“高兴地”，“舒服地” が“唱”，“哼” を修飾しており，「気持ちがいい」ことの現れが，「歌を歌う」という行為に結びついている，と捉えられていることがわかる。（画中の男が口を開けているにも関わらず，動詞に“哼”を用いた例が多いが，鼻歌も機嫌のよいときに出るものだ。）従って，被験者が動作主の心理状態（楽しそうだ，気持ちよさそうだ）に注目し，その

気持ちと密接に結びついた動作（歌、鼻歌を歌う）を“一边～一边～”文型の後部に置いたと考えられる。（Kのように、“舒服极了”という言葉が入り、かつ“哼着小调”が“一边～一边～”の前部に位置している例もあるが、数の上で劣る。）

ここでもう一度資料①、②を見てみる。資料①の“喝茶”と“聊天儿”では、動作主の意識はふつう“聊天儿”に重点が置かれていると考えられる。また、資料②では、“弹琴”が文中の唯一の動詞となっている例はあったが、“唱歌”のみ取り上げた例はなかった。動作として認識されやすいのは“弹琴”の方であると考えられるわけだが、“一边～一边～”文型では“唱歌”を後ろに置いた例が圧倒的に多かった。また、これらの文例中にはH“很高兴”，I“呱呱地”，O“大声”，R“自得其乐”などの言葉があり、先に2. 2で述べたピアノは歌を歌うための伴奏であるという見方とも併せて、被験者が“唱歌”の方により注目していることを表している。

以上、漫画資料を用いた調査とその結果から、2種類の動作の同時進行を表す“一边～一边～”文中の前後の位置関係には、叙述者が判断し、動作主にとっての主要な動作を後に置くという傾向が読み取れる。また、“～着～”文型が使われる場合は、動作間の主従関係が考慮されていることがわかった。

＜注＞

- 1) 日本語教育の、第二言語習得研究の分野において、ストーリー漫画の内容を語らせることによって発話資料を得るストーリーテリングという方法が盛んに行われている。今回の調査はそこからヒントを得た。ただし、ストーリーテリングの場合は、被験者の発話をテープに録音するのだが、今回は筆記形式にした。
- 2) “一边吃饭一边喝汤”（ご飯を食べながらスープを飲む）や、ひいては“他一边作工作，一边上夜校”（彼は仕事をしながら夜学に通っている）なども一般的な表現である。

＜参考文献＞

- 呂叔湘1980《現代漢語八百詞》商務印書館
 劉月華等1983《實用現代漢語語法》外語教學出版社

中国語母語話者による同時進行のとらえ方と表現型について

久野暲1978『談話の文法』大修館書店

棚橋明美1994「英語を母語とする日本語学習者における「非用」」お茶の水女子大学
人間文化研究年報第18号

＜付録＞ 調査の結果，被験者が画中の人物の何らかの動作行為について言及している部分を表示する。（そのような言及がなされていない場合は“ ϕ ”で表す。）

資料①

A：一边喝咖啡一边谈话

B：一间屋子里两位女士坐在桌子边一边喝咖啡一边聊天儿

C：两个人一边喝咖啡一边快乐的聊天儿

D：两个人边喝咖啡边聊天儿

E：一边喝咖啡，一边聊

F：这两个人边喝边说

G：φ

H：孩子和妈妈一起喝茶说到了高兴的事

I：边喝茶边议论

J：母女俩边喝边谈

K：喝边茶边说话

L：她们边喝茶边聊天儿

M：这两个人一边喝着咖啡边谈话

N：两位太太在聊天儿

O：两个女人在咖啡馆里谈天

P：久未见面的朋友在咖啡店聚会

Q：女人的话总是很多

R：一对妇人咖啡厅见面，侃侃而谈

S：φ

T：两个人刚才还在谈笑风声地边品茶边谈天，突然一句；话不投机大吵起来

U：她俩在咖啡店里这热闹劲

V：花子和太郎的夫人一见面就有说不完的话

W：φ

X：φ

Y：φ

資料②

- A : (练习唱歌) 一边弹琴一边唱歌
B : 一位老人在屋里一边弹琴一边唱歌
C : 老人家一边弹钢琴一边唱歌
D : 一位老先生一边弹钢琴一边唱歌
E : 一边弹琴一边唱
F : 一边弹琴一边唱歌
G : 一位老人一边弹琴一边唱着歌
H : 这是一个很高兴的人, 他一边弹钢琴一边唱歌
I : 边敲打着琴边在呱呱地乱叫
J : 老婆婆在家弹钢琴唱歌
K : 他在谱曲还是在自得其乐?
L : 老先生边弹钢琴边唱歌
M : 他在弹钢琴
N : 一位老太太一边弹琴一边唱着歌
O : 这个人在毫无顾忌地边弹琴边大声唱歌
P : 老爷爷边唱边弹。好不自在啊!
Q : 有一个老人坐在窗边自得其乐地弹着钢琴
R : 一老嫗边弹着钢琴边和着调子唱着歌曲, 自得其乐
S : 本田先生愛弹钢琴, 这是他自娱自乐的最好选择
T : 太太在公寓里弹着钢琴
U : 铃木在家自弹自唱, 很是高兴的样子
V : 渡边老汉一边弹着风琴一边高唱着《拉网小调》
W : 自弹自唱
X : 有钢琴伴奏却唱不成曲
Y : 乱钢琴

資料③

- A：一边洗澡一边唱歌
B：这位老人很唱歌，在澡盆里唱
C：老爷爷一边洗澡一边哼小调
D：他一边洗澡一边唱歌
E：一边洗澡一边哼歌
F：一边洗澡一边唱歌
G：有样子，一边洗澡一边哼着小曲儿是件很舒服的事
H：…泡在澡盆里的时候他高兴地唱
I：在热水里泡了几个小时
J：边洗澡边唱歌，他的心情非常愉快
K：边哼着小调边洗澡，真是舒服极了
L：边泡澡边唱歌
M：他正洗澡呢，一边洗还一边哼着小曲儿，好像很快意
N：一位老大爷在洗澡，舒服地哼起了小曲儿
O：泡在热腾腾的洗澡水里，美滋滋地哼着小曲
P：松本哼着小曲儿在洗澡
Q：画中人洗（泡）澡的时候在唱歌
R：老翁即便沐浴
S：松本哼着小曲儿在洗澡
T：福川先生哼着歌在洗澡
U：…哼着歌泡在洗盆里
V：太郎舒舒服服地泡在浴盆里，嘴里哼着小曲儿，心里喜滋滋的
W：φ
X：泡在热水里，吟唱成章
Y：φ